

2023年度 国語科シラバス

教科名		国語		教科書等	標準現代文B(第一学習社)	
科目名		現代文B	教材等	カラー版新国語便覧(第一学習社) 改訂版TOP2500(いっずな書店)		
単位数		3	履修学年区分	3学年(文系)		
履修区分		選択科目				
目標		近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。				
評価の観点		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
観点の趣旨		国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察・確認・分析	◎	◎		○	○
	記述の点検・確認・分析	○		◎		○
	定期考査等	○		○	◎	◎
	観点の重み(%)	20	10	10	30	30
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4	考査Ⅰ	新しい視点 記憶のゆがみ		・論理的な文章の読み方を習得する。 ・記憶のしくみについて学び、自身の日常生活について見つめ直す契機とする。		
5		新しい視点 物語を発現する力		・論理的な文章の読み方を習得する。 ・物語を発現する力を実感し、人間のものの捉え方、感じ方について再考する契機とする。		
6	考査Ⅱ	小説を読む(三) 山月記		・すぐれた短編小説を読み、鑑賞力を深める。 ・漢文訓読調の文章を味わい、表現力、感受性を豊かにする。 ・主人公を襲う運命について考え、自己の生き方に考えを向ける。		
7	考査Ⅲ	生への思索 鏡としての他者		・論理的な文章の読み方を習得する。 ・他者との関係の中で自己を考えるという視点を学び、自己について考える契機とする。		
9		生への思索 僕らの時代のメディア・リテラシー		・論理的な文章の読み方を習得する。 ・メディアの長所と短所について理解し、自分たちがメディアにどう関わっていくかという視点から、情報を的確に取捨選択する姿勢を養う。		
10	考査Ⅳ	小説を読む(二) バグダッドの靴磨き		・まとまった分量のある小説を読解する。 ・現代の戦争を題材とした小説を読むことで、現在の国際情勢や戦争について理解を深めるとともに、遠い国の出来事を自分の身に引きつけて考える姿勢を育む。		
11		人間と社会 経験の教えについて		・論理的な文章を的確に読解する。 ・経験に学ぶことの難しさと重要性を自らの問題として捉え、自身の生活に引きつけて考える意識を養う。		
12	課題テスト	大学入学共通テスト対策				
1		大学入学共通テスト対策				
2	—					
3	—					

2023年度 国語科シラバス

教科名		国語		教科書等	標準現代文B(第一学習社)	
科目名		現代文B	教材等		カラー版新国語便覧(第一学習社) キーワード漢字2700(浜島書店)	
単位数		2	履修学年区分		3学年(理系)	
履修区分		選択科目				
目標		近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。				
評価の観点		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
観点の趣旨		国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察・確認・分析	◎	◎		○	○
	記述の点検・確認・分析	○		◎		○
	定期考査等	○		○	◎	◎
	観点の重み(%)	20	10	10	30	30
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4	考査Ⅰ	世界を見つめる ワスレナグサ		・論理的な文章の読み方を習得する。 ・筆者の経験とそれに基づいた随想から、「自然」と「人間」に対する関心を深め、それを考察する力、および表現する力を養う。		
		世界を見つめる 食と想像力		・論理的な文章の読み方を習得する。 ・筆者がどのような体験を通して、何をどのように見ようとしているのか、その視点について正しく把握する。		
5	考査Ⅱ	小説を読む(一) ひよこの眼		・小説を読む際の基本的な読解方法を身につけ、読解力を養う。 ・登場人物の心理がどのように描き出されているか分析する。 ・表現の特徴と具体的な描写に留意し、それがどのような効果を発揮しているか考察する。		
6		新しい視点 物語を発現する力		・論理的な文章の読み方を習得する。 ・物語を発現する力を実感し、人間のものの捉え方、感じ方について再考する契機とする。		
7	考査Ⅲ	小説を読む(三) 山月記		・すぐれた短編小説を読み、鑑賞力を深める。 ・漢文訓読調の文章を味わい、表現力、感受性を豊かにする。 ・主人公を襲う運命について考え、自己の生き方に考えを向ける。		
9		生への思索 鏡としての他者		・論理的な文章を的確に読解する。 ・他者との関係の中で自己を考えるという視点を学び、自己について考える契機とする。		
10	考査Ⅳ	人間と社会 経験の教えについて		・論理的な文章を的確に読解する。 ・経験に学ぶことの難しさと重要性を自らの問題として捉え、自身の生活に引きつけて考える意識を養う。		
11		小説を読む(二) 卒業		・小説を読む楽しみ、重要性をかみしめ、より深い鑑賞と読解の力を身につける。 ・自身とは異なる立場にいる語り手や登場人物の心情と、その変遷を的確に捉える。		
12	課題テスト	大学入学共通テスト対策				
1		大学入学共通テスト対策				
2		—				
3	—					

2023年度 国語科シラバス

教科名		国語		教科書等	古典B(第一学習社)	
科目名		古典B	教材等	国語便覧(第一学習社)完全マスター古典文法(第一学習社) 精選漢文(尚文出版)Key&Point 古文単語330(いっずな書店)		
単位数		3	履修学年区分	3学年(文系)		
履修区分		選択科目				
目標		古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				
評価の観点		関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解		
観点の趣旨		古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。		
評価方法	行動の観察・確認・分析	◎	○	○		
	記述の点検・確認・分析	○	○	○		
	定期考査等	○	◎	◎		
	観点の重み(%)	20	40	40		
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4	定期考査Ⅰ	【古文】日記 「亀を買ひて放つ事」 第Ⅱ章(宇治拾遺物語)		《重点指導事項》 ・助動詞についての確認を深める。 ・大意把握の力を養うとともに、会話文の種々の形に注意し、口語訳の力を身につける。		
5		【漢文】逸話 「不顧後患」 第Ⅱ章(説苑)		《重点指導事項》 ・漢文の基本事項・句形・語彙を確認する。 ・少孺子の説得の巧みさを理解する。		
6	定期考査Ⅱ	【古文】物語 「姨捨」 第Ⅱ章(大和物語)		《重点指導事項》 ・文法的事項・敬語の用法について理解する。 ・人物の心情の推移、和歌にこめた思いを理解する。 ・地名起源説話のおもしろさを理解する。		
7	定期考査Ⅲ	【漢文】三国志の世界 「赤壁之戦」 第Ⅱ章(十八史略)		《重点指導事項》 ・長めの文章を読んで、訓読上のきまりをより正しく理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・三国時代の人々のものの見方、考え方を理解する。		
9		【古文】物語 「弓争ひ」「三舟の才」 第Ⅱ章 (大鏡)		《重点指導事項》 ・敬語表現や会話独特の文末表現や省略表現に注意し、口語への置き換え方を理解する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。		
10	定期考査Ⅳ	【漢文】史記の群像 「孫臏」 第Ⅱ章(孫子呉起列伝)		《重点指導事項》 ・訓読のきまりに従い、正確に本文を読み、漢文に調子に慣れさせる。 ・句形に習熟し、訓読や口語訳の際に正確に扱えるようにする。		
11		【古文】日記 「汧坏の水」 第Ⅱ章(蜻蛉日記)		《重点指導事項》 ・歌に込められた作者の思いを理解する。 ・文中の心情表現からうかがわれる作者の性格について考える。		
12	課題テスト	大学共通テスト対策				
1		大学共通テスト対策				
2						
3						

2023年度 国語科シラバス

教 科 名		国 語		教科書等	古典B(第一学習社)	
科 目 名		古典B	教材等	国語便覧(第一学習社)完全マスター古典文法(第一学習社) 精選漢文(尚文出版)Key&Point 古文単語330(いいずな書店)		
単 位 数		2	履修学年区分	3学年(理系)		
履修区分		選択科目				
目 標		古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				
評価の観点		関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解		
観点の趣旨		古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。		
評価方法	行動の観察・確認・分析	◎	○	○		
	記述の点検・確認・分析	○	○	○		
	定期考査等	○	◎	◎		
	観点の重み(%)	20	40	40		
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4	定期考査Ⅰ	【古文】日記 「亀を買ひて放つ事」 第Ⅱ章(宇治拾遺物語)		《重点指導事項》 ・助動詞についての確認を深める。 ・大意把握の力を養うとともに、会話文の種々の形に注意し、口語訳の力を身につける。		
5		【漢文】逸話 「不顧後患」 第Ⅱ章(説苑)		《重点指導事項》 ・漢文の基本事項・句形・語彙を確認する。 ・少孺子の説得の巧みさを理解する。		
6	定期考査Ⅱ	【古文】物語 「姨捨」 第Ⅱ章(大和物語)		《重点指導事項》 ・文法的事項・敬語の用法について理解する。 ・人物の心情の推移、和歌にこめた思いを理解する。 ・地名起源説話のおもしろさを理解する。		
7	定期考査Ⅲ	【漢文】三国志の世界 「赤壁之戦」 第Ⅱ章(十八史略)		《重点指導事項》 ・長めの文章を読んで、訓読上のきまりをより正しく理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・三国時代の人々のものの見方、考え方を理解する。		
9		【古文】物語 「弓争ひ」「三舟の才」 第Ⅱ章(大鏡)		《重点指導事項》 ・敬語表現や会話独特の文末表現や省略表現に注意し、口語への置き換え方を理解する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。		
10	定期考査Ⅳ	【漢文】史記の群像 「孫臏」 第Ⅱ章(孫子呉起列伝)		《重点指導事項》 ・訓読のきまりに従い、正確に本文を読み、漢文に調子に慣れさせる。 ・句形に習熟し、訓読や口語訳の際に正確に扱えるようにする。		
11		【古文】日記 「汧坏の水」 第Ⅱ章(蜻蛉日記)		《重点指導事項》 ・歌に込められた作者の思いを理解する。 ・文中の心情表現からうかがわれる作者の性格について考える。		
12	課題テスト	大学共通テスト対策				
1		大学共通テスト対策				
2						
3						

2022年度 地理歴史科シラバス

教 科 名		地理歴史		教科書等		「詳説世界史B」山川出版			
科 目 名		世界史B		教材等		アカデミア世界史 浜島書店 ウィニングコンパス 世界史の整理と演習 とうほう			
単 位 数		5		履修学年区分		3学年(文系)			
履修区分		選択科目							
目 標		・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する基礎・基本的な知識を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら学ぶ。 ・近世以前の世界と日本の歴史との関連性・相互作用について考察し、歴史的思考力を身に付ける。また、世界の諸地域の歴史的特性を学ぶとともに、現代の世界と日本の抱える諸問題・諸課題について考察する。							
評価の観点		関心・意欲・態度		思考・判断・表現		資料活用・技能		知識・理解	
観点の趣旨		世界の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。		世界の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。		世界の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。		世界の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	
評価 方法	行動の観察	◎		◎		◎			
	提出物・小テスト	◎		○		○		○	
	定期考査等	○		○		○		◎	
	観点の重み(%)	25		25		25		25	
月	考査	学習内容(単元名)			学習活動とねらい			備考・変更点	
4	定期考査Ⅰ	大交易時代			・アジア交易世界の再編と活況について学ぶ。 ・海洋帝国の出現に関する知識を学ぶ。 ・大交易時代の世界に関する知識を学ぶ。				
5	定期考査Ⅱ	ユーラシア諸帝国の繁栄			・イランと中央アジアの繁栄に関する知識を学ぶ。 ・オスマン帝国やムガル帝国の繁栄について考察する。 ・明・清と東アジア世界や日本との関係について考察する。				
6		近世のヨーロッパ			・イスラーム並びにイスラーム世界に関する知識を学ぶ。 ・イスラーム世に関する知識を身につけ、それをもとに現代における諸課題について考察を加える。				
7	定期考査Ⅲ	欧米における工業化と国民国家の形成			・激化する経済覇権抗争や工業化による経済成長と社会問題の発生について考察する。 ・アメリカ合衆国の独立やフランス革命とウィーン体制に関する知識を学ぶ。 ・自由主義の台頭と新しい革命の波ついて理解する。				
9		産業資本主義の発展と帝国主義			・イギリスの覇権とヨーロッパ諸国に関する知識を学ぶ。 ・南北アメリカの発展について考察する。 ・第2次産業革命と社会生活の変化について理解する。				
10	定期考査Ⅳ	アジア諸地域の変革運動			・西アジアの変革運動とその歴史に関する知識を学ぶ。 ・南アジア・東南アジアの植民地化と民族運動に関する知識を学ぶ。 ・清の動揺と変貌する東アジア諸地域について学ぶ。 ・共通テスト演習問題に取り組む。				
11		世界戦争の時代			・第一次世界大戦・ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編について理解する。 ・大戦後の合衆国とヨーロッパの状況・アジア・アフリカでの国家形成の動きをとらえる。 ・世界恐慌と国際対立の激化・第二次世界大戦について学ぶ。 ・共通テスト演習問題に取り組む。				
12	定期考査Ⅴ	戦後世界秩序の形成			・冷戦の形成と展開、植民地の独立と世界政治について考察する。 ・東アジアの「熱い戦争」と経済発展について学ぶ。 ・合衆国の覇権の動揺と再編について理解する。 ・共通テスト対策問題演習に取り組む。				
1		情報革命と世界経済の一体化			・情報革命とグローバル化に関する知識を学ぶ。また冷戦の終結と新たな世界秩序を理解し、21世紀の地球的課題と地域世界について考察を加える。 ・共通テスト演習問題に取り組む。				
2									
3									

2022年度 地理歴史科シラバス

教 科 名		地理歴史		教科書等	詳説 日本史B	
科 目 名		日本史B	教材等	『改訂版 詳説日本史B』(山川出版社) 『新詳日本史』(浜島書店) 『要点整理 ゼミナル日本史』(浜島書店)		
単 位 数		5	履修学年区分	2年(文系)・3年(文系)		
履修区分		選択必修科目				
目 標		我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統とぶんかの特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 の 技能	知識・理解	
観点の趣旨		我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	
評価方法	行動の観察	◎	○	○	○	
	提出物・小テスト	○	○	○	○	
	定期考査等	○	◎	◎	◎	
	観点の重み(%)	25	25	25	25	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4	考査Ⅰ	第3部 近世 第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立		織豊政権の特色と意義、幕藩体制の特質を大航海時代といわれる世界的背景と国内の政治・社会の動向との関連に着目して統合的に理解させる。		
5前		第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化		幕藩体制の特質を強力な支配体制、経済的基盤、封建的な身分制度、鎖国対策などそれらの政治的、社会的な背景や役割と関連させて理解させる。		
5後	考査Ⅱ	第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 幕府の衰退 3 化政文化		農村を基盤とする幕藩体制が内外の要因によって次第に動揺していく過程と社会、経済の発展のなかで近代化を準備する新しい芽生えが見られてきたことを理解させる。		
6		第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵		我が国が明治維新を実現し、自由民権運動の展開を経て大日本帝国憲法の制定に至る立憲体制成立の過程を考察させる。 産業革命にともない近代産業が発展し資本主義が確立していく過程を理解させる。		
7	考査Ⅲ	3 立憲国家の成立 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達				
9		第10章 近代日本とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦		第一次世界大戦とその前後における欧米やアジアの国際情勢を把握させながら我が国が大戦とどの ようにかかわり、経済や社会にどのような影響を およぼしたかを考察させる。 我が国の政党政治の発展と社会の動向や文化について時代背景と関連させながら考察させる。 第二次世界大戦前後の対外関係の推移と欧米諸国の動向、アジアにおける民族運動の拡大などの国 際情勢に着目させ第2次世界大戦と我が国とのか かわりを多面的・多角的に考察させる。		
10		第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講話		第二次世界大戦終結から1970年代までの主に政治、外交分野での我が国の発展の様相を世界の動向に留意しながら考察させる。		
11	考査Ⅳ	第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ 第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の動揺		高度経済成長とそれに伴う新しい外交関係、国民生活の変化と経済発展に伴って表面化した社会問題について考察させる。 世界経済の変化や国際政治の動向を展望しながら我が国の動向を概観して現代日本の課題および役割を考察させる		
12		テーマ別 復習 近現代史 復習		知識の活用、史料の読み取り・読解など、受験に必要であり、かつ、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての能力を涵養する		
1	共通テスト	共通テスト 演習 私大 演習				
2						
3						

2022年度 地理歴史科シラバス

教 科 名		地理・歴史		教科書等	高等学校 新地理A	
科 目 名		地理A	教材等	新詳 高等地図(帝国書院) 新編 地理資料2021(とうほう)		
単 位 数		2	履修学年区分	3年(理系)		
履修区分		選択必修科目				
目 標		現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代社会の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
観点の趣旨		現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとしている。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	
評価方法	行動の観察	◎	○	○	○	
	提出物・小テスト	○	○	○	○	
	定期考査等	○	◎	◎	◎	
	観点の重み(%)	25	25	25	25	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4		1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 3章 世界の諸地域の生活・文化 6節 サハラ以南のアフリカ 7節 ヨーロッパの生活・文化		<学習活動> ・講義、説明を聞く ・プリントの穴埋めや考察を行う ・班別学習……調べ学習、議論、プレゼン(個人・グループ) ・図や資料の読み取り ・地図やグラフを描く <狙い> ・地域の地形、気候、歴史、文化、産業などの特徴を理解するとともに、共通性や独自性について考察する。 ・資料活用力や論理的思考力を育成する。 ・表現力、コミュニケーション力を育成する		
5	定期Ⅰ	8節 ロシアの生活・文化 9節 アングロアメリカの生活・文化				
6	定期Ⅱ	10節 ラテンアメリカの生活・文化 11節 オーストラリアの生活・文化				
7		4章 地球的課題と私たち 1節 複雑に絡み合う地球的課題		<学習活動> ・講義、説明を聞く ・プリントの穴埋めや考察を行う ・班別学習……調べ学習、議論、プレゼン(個人・グループ) ・図や資料の読み取り ・地図やグラフを描く ・新聞記事などを読む <狙い> ・地球的な問題について知識や理解を深める。 ・地球的な問題を自分事として捉え、向き合う姿勢を作るとともに、課題解決のための具体的な行動を提示できるようになる。 ・自分の意見を持つとともに、他者の意見を共感的に聞くことが出来る寛容な姿勢を持つ。		
9		2節 世界の環境問題 3節 世界の資源・エネルギー問題 4節 世界の人口問題				
10	定期Ⅲ	5節 世界の食料問題 6節 世界の都市・居住問題 2部 身近な地域の課題 1章 身近にあるさまざまな地図				
11	定期Ⅳ	2章 日本の自然環境と防災		・日本の地形、気候、産業や諸問題について知識と理解を深める。 ・一般論を身近で個別的の状況に対応させ、具体的に考察できる力を身につける。		
12		3章 身近な地域の課題と地域調査 入試問題演習(主として共通テスト)		・知識の活用・データの読み取り・図の読解など、受験に必要であり、かつ、日常生活でも使える能力を涵養する		
1	共通テスト	入試問題演習(主として共通テスト)				
2						
3						

2022年度 公民科シラバス

教 科 名		公民		教科書等	「高等学校 改訂版 現代社会」(第一学習社)	
科 目 名		現代社会	教材等	新編テーマ別資料現代社会2021(東京法令出版)		
単 位 数		2	履修学年区分	3年		
履修区分		選択必修				
目 標		人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
観点の趣旨		現代の社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身につけている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身につけている。	
評価方法	学習状況の観察	◎	○	○		
	提出物・小テスト等	○	○	○	○	
	定期考査等	○	◎	◎	◎	
	観点の重み(%)	25	25	25	25	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4		第1編 私たちの生きる社会 第1章 地球環境問題 第2章 資源・エネルギー問題 第3章 科学技術の発達と生命倫理 第4章 高度情報化社会と私たちの生活 第2編 現代社会と人間としての在り方生き方 第1章 現代に生きる青年 ①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活		・現代的、先端的な問題について理解、考察し、現代社会の諸問題に向き合う基礎的素養を身につける ・私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。 ・基本的人権が保障されるにいたった経緯を、さまざまな情報手段で資料を収集し、具体的事例をあげて考察し、理解する。 ・世界のおもな政治体制について、真の民主政治の実現と関連させて考察する。		
5	・定期考査Ⅰ	第2章 個人の尊重と法の支配 ①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 ①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権の保障と新しい人権		・日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 ・日本国憲法の平和主義の特色を理解するとともに、平和主義と日本の安全保障について、さまざまな情報手段を活用し、レポートをまとめる。 ・日本国憲法の平和主義の特色と自衛隊、日本の安全保障については、さまざまな立場からの意見があることを理解する。 ・自由権の意味や、社会権が私たちの生活をどのように変えたのか、新しい人権とは何かをさまざまな立場にたって考察する。 ・権利を保障するために一人一人がどう考え、行動するかを主体的に考える。		
6	・定期考査Ⅱ	④国民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障 ⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加		・国会の地位と構成、権限について理解する。 ・国政や地方自治の仕組みを理解し、主体的に関わる方策についてまとめ、できれば行動に移せるようにする。 ・議院内閣制のしくみや裁判所の役割や裁判制度について、資料や判例を収集し、理解する。特に裁判員制度について、主体的な意見を持てるようにする。 ・政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、調査する。 ・若者の政治参加の重要性について、具体例を収集しながら考察し、積極的な姿勢を持てるようにする。 ・政治や行政の国民によるチェックの重要性を理解し、積極的に関わろうとする。		
7		第4章 国際政治の動向と日本の役割 ①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤地域紛争と人種・民族問題		国際法や国際連合の意義と役割について、多面的に考察し、理解する。 ・第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について、年表を使って整理し、理解する。 ・核兵器を廃絶するには何が必要かを考え、核兵器の開発・拡散の状況、廃絶するためのさまざまな取り組みについて、具体的事例をあげて多角的に考察する。 ・なぜ人種や民族の違いにより争うのかを主体的に考え、人種・民族紛争の実態、難民問題について、資料を用いて理解する。 ・国際平和が人道的な意味だけでなく経済的にも重要であることを理解し、その維持のために貢献しようとする姿勢を身につける。		

9		⑥国境と領土問題 ⑦外交政策と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 ①経済社会と経済体制 ②経済主体と企業の活動 ③市場経済のしくみ ④経済成長と景気変動	・国境と領土問題や日本の領土問題について、教科書の写真・地図を使用して理解する。 ・国際社会における日本の役割や、国際社会の一員として私たちは何をすべきかを考える。 ・経済の基本的なしくみや企業・家計・政府の活動について理解する。 ・企業の社会的責任について理解するとともに、個人の責任についても考察する。 ・経済成長は生活にどのような変化を与えるかを、具体的事例をあげて考察する。	
10	・定期 考 査 Ⅲ	⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化	・財政政策の意義、日本の財政の現状と課題を理解し、租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察し、自分に引きつけて考える。 ・金融機関や日銀の役割について理解する。 ・平成不況に対する政策を調査し、日本経済の課題について多角的に考察する。 ・技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察する。	
11	・定期 考 査 Ⅳ	⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉	・労働者が憲法や法律で守られている理由を考え、雇用事情の変化と労働条件や労働環境を理解する。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体的事例をあげて自分の問題として多角的に考察する。 ・消費者問題や消費者主権について、自分自身の問題として具体的事例をあげて考察する。同時にエコ消費など消費活動を通じて社会変革に関与できる可能性について考察する。 ・社会保障の意義を理解し、現代の社会保障の課題について考察する。	
12		第6章 国際経済の動向と日本の役割 ①国際経済のしくみと貿易の拡大 ②進む経済統合 ③国際経済の動向 ④発展途上国の経済と南北問題 ⑤国際協調と日本の役割	・貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化及びそれらの身近な社会への影響について考える。 ・地域的経済統合や分裂をはかる動きが見られることを理解しそれによって何がもたらせるかを理解する。 ・世界各国の貿易について理解し、貿易の拡大とそれにとまなう貿易摩擦や南北問題等とその対応策について考える。 ・発展途上国の人口問題や食料問題の現状や原因、展望について理解する。 ・国際協力のあり方、国際経済の中での日本の役割について自分自身の問題として考える。 ・グループワークなどにより、討論や資料まとめ、発表など思考、判断、表現の練習を行う。	
1		第7章 現代に生きる倫理 ①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的なものの考え方 ③近代の西洋思想 ④現代に生きる人間の倫理	・日本的な考え方、西洋的な考え方などを学習し、その違いについて考察するとともに、多様性を尊重する姿勢や他者に対する寛容さの必要性を理解する。	
2				
3				

2023年度 数学シラバス

教 科 名		数学		教科書等	東京書籍	
科 目 名		数学Ⅱ	教材等	『Standard Buddy STAGE 数学Ⅱ』(東京書籍) 『Standard Buddy STAGE 数学Ⅱ 演習ノート』(東京書籍)		
単 位 数		3	履修学年区分	3学年(文系)		
履修区分		選択科目				
目 標		指数関数・対数関数・微分・積分および1年で既習した内容の考えについて理解を徹底させ、基礎的な知識の習得と技能の定着を図る。また、事象を数学的に考察し表現する能力を向上させるとともに、それらを活用できるようにする。				
評価の観点		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	
観点の趣旨		数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	
評価方法	行動の観察	○	○	○	○	
	提出物・小テスト	◎	○	○	○	
	定期考査等		◎	◎	◎	
	観点の重み(%)	25	25	25	25	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4	定期考査Ⅰ	第4章 指数関数・対数関数		・指数法則を用いて、指数や累乗根の計算ができるようにする。 ・指数関数の性質を理解し、大小関係を表したり、指数方程式・指数不等式が解けるようにする。		
5	定期考査Ⅱ	第4章 指数関数・対数関数		・対数の定義や性質を理解し、対数を用いた計算ができるようにする。 ・対数関数の性質を理解し、大小関係を表したり、対数方程式・対数不等式が解けるようにする。 ・常用対数の性質を理解し、桁数の問題や小数首位問題を解けるようにする。		
6		第5章 微分と積分		・平均変化率や微分係数の定義を理解しその計算ができるようにする。 ・導関数の定義を理解し、定義に従った導関数を求めたり、導関数の性質に従った微分の計算ができるようにする。 ・増減表を用いて、関数の増減や極大値・極小値を求められるようにする。		
7	定期考査Ⅲ	第5章 微分と積分		・増減表やグラフを用いて、関数の最大値・最小値を求められるようにする。 ・グラフを用いて高次方程式の解の個数を求められるようにする。 ・不定積分の定義や性質を理解し、不定積分の計算ができるようにする。		
9		第5章 微分と積分		・定積分の定義や性質を理解し、定積分の計算ができるようにする。 ・定積分の考え方をを用いて、図形の面積を求められるようにする。		
10	定期考査Ⅳ	数Ⅰ・A分野の復習		・数学Ⅰ・Aの総復習を行う。		
11		数Ⅰ・A分野の復習		・数学Ⅰ・Aの総復習を行う。		
12	伊奈講座	共通テスト試験対策		・共通テスト対策の問題演習を行う。		
1		共通テスト試験対策		・共通テスト対策の問題演習を行う。		
2	-					
3	-					

2023年度 数学シラバス

教 科 名		数学		教科書等	東京書籍	
科 目 名		数学Ⅱ・B	教材等	STAGE 数学Ⅱ 攻略！共通テストPickUp128 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B』（東京書籍）		
単 位 数		6(4+2)	履修学年区分	3学年(理系 数学Ⅱコース)		
履修区分		選択科目				
目 標		1、2年次で学習した内容について、演習を中心とした復習を実施して、受験に対応できるようになる。				
評価の観点		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	
観点の趣旨		数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	
評価方法	行動の観察	○	○	○		
	提出物・小テスト	◎	○	○	○	
	定期考査等		◎	◎	◎	
	観点の重み(%)	25	25	25	25	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4 5	定期考査Ⅰ	【数学B】 ベクトル 【数学Ⅱ】 微分と積分		・ベクトルの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。		
6	定期考査Ⅱ	数学ⅠAの復習		・数学ⅠAの基本的な知識を組み合わせ入試問題を解く。		
7	定期考査Ⅲ	数学ⅠAの復習		・数学ⅠAの基本的な知識を組み合わせ入試問題を解く。		
9		数学ⅡBの復習		・数学ⅡBの基本的な知識を組み合わせ入試問題を解く。		
10	定期考査Ⅳ	数学ⅡBの復習		・数学ⅡBの基本的な知識を組み合わせ入試問題を解く。		
12	伊奈講座	共通テスト演習		・共通テスト対策問題集に取り組み、入試本番に備える。		
1		共通テスト演習/苦手分野克服講座		・共通テスト対策問題集に取り組み、入試本番に備える。 ・共通テスト後は、一般試験に向けて苦手分野の内容について集中的に学習をしていく。		
2	-					
3	-					

2023年度 数学シラバス

教科名		数学		教科書等		東京書籍			
科目名		数学Ⅲ		教材等		STAGE 数学Ⅱ・STAGE 数学Ⅲ 攻略！共通テストPickUp128 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B』（東京書籍）			
単位数		6		履修学年区分		3学年（理系 数学Ⅲコース）			
履修区分		選択科目							
目 標		指数関数・対数関数、複素平面、式と曲線、極限、微分法、微分法の応用、積分法とその応用について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。また事象を数学的に考察する能力を身につけ、数学のよさを認識し、それらを活用できるようにする。							
評価の観点		関心・意欲・態度		数学的な見方や考え方		数学的な技能		知識・理解	
観点の趣旨		数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。		事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。		事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。		数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	
評価方法	行動の観察	○		○		○		○	
	提出物・小テスト	◎		○		○		○	
	定期考査等			◎		◎		◎	
	観点の重み(%)	15		30		30		15	
月	考査	学習内容(単元名)			学習活動とねらい			備考・変更点	
4 5	定期考査Ⅰ	【数学B】 ベクトル 【数学Ⅱ】 微分と積分			・ベクトルの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。				
5	定期考査Ⅱ	第3章 関数と極限			・数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。				
6		第4章 微分			・関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和・差・積・商及び合成関数の導関数を求める。 ・三角関数、指数関数、対数関数の導関数を求める。				
7	定期考査Ⅲ	第5章 微分の応用			・導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかく。また、それらを事象の考察に活用する。				
9		第6章 積分とその応用			・積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。				
10	定期考査Ⅳ	第1章 平面上の曲線			・平面上の曲線がいろいろな式で表される事について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。				
11		第2章複素平面			・複素平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。				
12	伊奈講座	共通テスト演習			・共通テスト対策問題集に取り組み、入試本番に備える。				
1		共通テスト演習/私立・国公立2次対策			・共通テスト対策問題集に取り組み、入試本番に備える。 ・共通テスト後は、伊奈高生にとっての主要な大学の過去問題に取り組む。				
2	-								
3	-								

2023年度 数学シラバス

教 科 名		数学		教科書等	東京書籍	
科 目 名		数学B	教材等			
単 位 数		2	履修学年区分	3学年(文系数B選択)		
履修区分		選択科目				
目 標		数列、ベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。また、事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに、それらを活用できるようにする。				
評価の観点		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	
観点の趣旨		数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	
評価方法	行動の観察	◎	○	○		
	提出物・小テスト	○	○	◎	○	
	定期考査等		◎	○	◎	
	観点の重み(%)	30	30	20	20	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4	定期考査Ⅰ	第3章 数列 1 数列と一般項 2 等差数列 3 等差数列の和		・数列について理解し、一般項を求めることができるようにする。 ・等差数列の一般項や和を求めることができるようにする。		
5	定期考査Ⅱ	4 等比数列 5 等比数列の和 6 和の記号Σ		・等比数列の一般項や和を求めることができるようにする。 ・記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められるようにする。 ・第k項をkの式で表して、初項から第n項までの和を求められるようにする。		
6		7 階差数列 8 いろいろな数列の和 9 漸化式 10 数学的帰納法		・階差数列を利用してもとの数列の一般項が求められるようにする。 ・初項から第n項までの和に着目して、一般項を考察できるようにする。 ・和の求め方の工夫をして、数列の和が求められるようにする。 ・初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解し、一般項を求めることができるようにする。 ・数学的帰納法を用いて、等式、不等式を証明できるようにする。		
7	定期考査Ⅲ	第1章 平面上のベクトル 1 ベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分		・ベクトルの向き、相等について理解し、加法、減法、実数倍の演算ができるようにする。 ・成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算ができるようにする。		
9		4 ベクトルの内積 5 位置ベクトル		・ベクトルの大きさとなす角から、内積を求めることができるようにする。 ・線分の内分点、外分点を位置ベクトルで表す公式を理解できるようにする。		
10	定期考査Ⅳ	第2章 空間のベクトル 1 空間の点 2 空間のベクトル		・空間における図形を、図や座標を利用して示すことができるようにする。		
11		3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 5 ベクトルの図形への応用		・空間のベクトルの成分を空間座標と関連付けて考察できるようにする。 ・ベクトルの内積を、平面から空間へ拡張して考察できるようにする。		
12	伊奈講座	共通テスト対策		・共通テスト対策の問題演習を行う。		
1		共通テスト対策		・共通テスト対策の問題演習を行う。		
2	-					
3	-					

2023年度 理科シラバス

教 科 名		理科		教科書等	第一学習社『スクエア最新図説生物』	
科 目 名		発展生物	教材等	実教出版 アクセスノート 生物基礎		
単 位 数		2	履修学年区分	3年文系		
履修区分		選択科目				
目 標		・生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解に深め、科学的な自然観を育成する。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
観点の趣旨		自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
評価方法	行動の観察	◎	○	◎	○	
	提出物・小テスト	◎	○	○	◎	
	定期考査等		◎	○	◎	
	観点の重み(%)	20	30	20	30	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4		第3章 生物の体内環境とその維持 2節 体内環境を維持するしくみ 1 自律神経系による調節		・体内環境の維持に自律神経が関わっていることを理解する。		
5	I	2 ホルモンによる調節		・体内環境の維持にホルモンが関わっていることを理解する。		
6		3 自律神経系とホルモンによる調節		・体内環境の維持に自律神経とホルモンがともに連携しながら関わっていることを理解する。		
7	II	3節 免疫 1 生体防御と免疫 2 自然免疫のしくみ		・異物の体内への侵入を防いだり、侵入した異物を排除するしくみを理解する。		
9		3 獲得免疫のしくみ 4 ヒトと免疫		・侵入した異物を排除するしくみを理解する。 ・免疫反応による病気や免疫反応の利用方法について学ぶ。		
10	III	第4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移 1 生物と環境のかかわり 2 植生とその構造		・生態系の成り立ちと植生の果たす役割を理解し、植生の遷移が生じるメカニズムを学ぶ。		
11		2節 気候とバイオーム 1 バイオームの分布		・気象条件の違いにもとづいて、さまざまなバイオームが成立する過程を知り、世界や日本におけるバイオホームについて学ぶ。		
12	IV	3節 生態系と物質循環 1 生態系 2 エネルギーの流れと物質循環		・生態系におけるエネルギーの流れと物質のしくみについて理解する。		
1	課題テスト	4節 生態系のバランスと保全 1 生態系のバランス 2 人間生活と環境の変化 3 人間生活と生態系の変化 4 環境の保全		・生態系のバランスや生物多様性の重要性を学び、生態系の保全について理解する。		
2						
3						

2023年度 理科シラバス

教 科 名		理科		教科書等	数研『改訂版 物理』	
科 目 名		物理	教材等		スタディノート物理改訂	
単 位 数		3	履修学年区分		3学年(理系)	
履修区分		選択科目				
目 標		物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
観点の趣旨		自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
評価方法	行動の観察	◎	○	◎	○	
	提出物・小テスト	○	○	○	◎	
	定期考査等		◎	○	◎	
	観点の重み(%)	20	30	20	30	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4	定期考査Ⅰ	3編 波 3章 光		光の速さを学習し、光の進み方について理解する。 レンズの基本的な性質を学習しレンズの式や倍率の式について理解する。 さまざまな干渉条件を理解する。		
5	定期考査Ⅱ	4編 電気と磁気 1章 電場		電荷や帯電、電気量保存の法則などを学習し、静電気力について定量的に理解する。		
6		2章 電流		電子の運動をもとにした、オームの法則の導出過程を理解する。 ホイートストンブリッジを学習し、非直線抵抗やコンデンサーを含む回路について理解する。		
7	定期考査Ⅲ	3章 電流と磁場		磁気力に関するクーロンの法則を学習し、電流がつくる磁場の強さと磁力線の概形について理解する。		
9		4章 電磁誘導と電磁波		ファラデーの電磁誘導の法則を学習し、磁場中を動く導体に生じる起電力や、導体を動かすのに要する力や仕事の関係を理解する。		
10	定期考査Ⅳ	5編 原子 1章 原子と光		光電効果とその特徴を学習し、光電子の運動エネルギーと仕事関数との関係を定量的に理解する。 物質波について学習し、弱い光源によるヤングの実験をもとに、粒子性と波動性の二重性を理解する。		
11		2章 原子と原子核		これまでに提唱された原子模型と、各模型の特徴を理解する。 水素原子における電子の軌道半径やエネルギー準位について、式を用いて理解する。		
12	定期考査Ⅴ	共通試験対策		共通試験に向け、各章の復習及び共通試験・センター試験過去問演習を行う。		
1		共通試験対策		共通試験に向け、各章の復習及び共通試験・センター試験過去問演習を行う。		
2						
3						

2023年度 理科シラバス

教 科 名		理科	教科書等		実教出版『生物 新訂版』	
科 目 名		生物	教材等	第一学習社『スクエア最新図説生物』 アクセスノート生物		
単 位 数		3	履修学年区分	3学年(理系)		
履修区分		選択科目				
目 標		・生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解に深め、科学的な自然観を育成する。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
観点の趣旨		生物や生物現象に関心や探究心をもち、主体的に探求しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。。	
評価方法	行動の観察	◎	○	◎	○	
	提出物・小テスト	○	○	○	◎	
	定期考査等		◎	○	◎	
	観点の重み(%)	20	30	20	30	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4	I	2章 生殖と発生 2節 動物の発生		・動物の初期発生の過程について、ウニとカエルを例に理解する。 ・発生のしくみと発生における遺伝子発現のしくみについて理解する。		
5	II	3節 植物の発生		・被子植物の生殖と発生・分化について理解する。		
6	II	1節 有性生殖		・減数分裂による染色体の移動を理解し、遺伝子の伝わり方を考えることができる。		
7	III	3章 生物の環境応答 1節 動物の反応と行動		・動物が外界の刺激を受容し、神経系を介してそれに反応するしくみについて理解する。 ・動物の行動とその行動をめぐるしくみを理解する。		
9	III	2節 植物の環境応答		・植物がホルモンや光受容体の働きで環境変化に反応するしくみを理解する。		
10	IV	4章 生態と環境 1節 個体群とその変動 2節 生態系		・生物群集の成り立ちと多様な種が共存するしくみについて理解する。 ・生物多様性の意味およびそれを減少させる要因について理解する。		
11	IV	5章 生物の進化と系統 1節 生命の進化 2節 進化のしくみ 3節 生物の系統		・生命の起源と進化の歴史について理解する。 ・進化のしくみと生物の系統の概要を理解する。		
12		共通テスト対策		問題演習		
1		共通テスト対策		問題演習		
2						
3						

2023年度 理科シラバス

教科名		理科		教科書等	東京書籍 新編化学
科目名		化学(理系)	教材等	インプレス化学ノート(浜島書店)	
単位数		4	履修学年区分	3年理系	
履修区分		選択科目			
目標		・化学に関する基本事項を理解し、化学的なものの見方や考え方を身に付ける。 ・実験、観察を通して探究する能力とそのために必要な基本的な実験の技能を身に付ける。 ・化学を理解することによって、自然や地球環境を尊重する意識と態度を身に付ける。			
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
観点の趣旨		化学的な事物・現象に関心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	化学的な事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導きだした考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察	◎	○	◎	
	提出物・小テスト	○		○	○
	定期考査等		◎		◎
	観点の重み(%)	30	30	10	30
月	考査	学習内容(単元名)	学習活動とねらい	備考・変更点	
4	定期考査Ⅰ	1編 物質の状態 1章 物質の状態 2章 気体の性質	・物質の三態と熱運動について理解する。 ・気体の圧力が熱運動に関係することを学ぶ。 ・飽和蒸気圧と沸騰も関係学ぶ。 ・気体の性質の各種法則と活用を理解する。 ・理想気体と実在気体の違いを理解する。		
5	定期考査Ⅱ	3章 溶液の性質 4章 化学結合と固体の構造 探究活動	・溶解の仕組みを理解し、溶解度について学ぶ。 ・溶液の性質の各種法則と活用を理解する。 ・固体を構成する各結合の結晶構造について学習する。		
6		2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 2章 電池と電気分解 3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ	・物質とエネルギーについて熱化学方程式を知る。 ・電池電気分解について反応機構と量的関係について学ぶ。 ・電気分解の工業的利用について学ぶ。 ・化学反応の速さが多くの条件で変化することを知る。		
7	定期考査Ⅲ	2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡	・化学平衡の仕組みと平衡定数について理解する。 ・ルシャトリエの原理を理解する。 ・水の電離平衡について理解し、酸・塩基の強弱の理解とpH計算ができるようにする。 ・緩衝液、溶解度積について理解する。		
9		4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 4章 遷移元素の単体と化合物	・代表的な非金属元素の単体と化合物について知る。 ・代表的な典型金属元素の単体と化合物について知る。 ・身近な遷移元素の単体と化合物について知る。 ・金属単体や合金、セラミックスについて理解する。		
10	定期考査Ⅳ	5章 無機物質と人間生活 5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 3章 アルコールと関連化合物	・有機化合物の特徴と分類について理解する。 ・脂肪族炭化水素アルカン、アルケン、アルキンを学び、反応の仕組みや用途を理解する。 ・アルコールとその関連化合物を知り、有機的なつながりを理解する。		
11		4章 芳香族化合物 5章 有機化合物と人間生活 6編 高分子化合物 1章 天然高分子化合物	・芳香族化合物の特徴と反応性および用途を理解する。 ・食品、洗剤、染料、医薬品と人間生活のかかわりを知る。 ・天然高分子化合物(糖類)の特徴を理解する。 ・天然高分子化合物(タンパク質)の特徴を理解する。		
12	伊奈講座	2章 合成高分子化合物 3章 高分子化合物と人間生活 共通テスト試験対策	・合成高分子化合物の生成の仕組みと分類を理解する。 ・共通テスト試験過去問を中心とした演習をおこなう。		
1		私大・国公立2次試験対策	・私大・国公立大過去問を中心とした演習をおこなう。		
2	-				
3	-				

2023年度 保健体育科シ

教 科 名		保健体育	
科 目 名		体育	教材等
単 位 数		3単位	履修学年区分
履修区分		必修科目	
目 標		運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じ、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保する資質や能力を育てる。	
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現
観点の趣旨		運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。
評価方法	行動の観察	◎	◎
	実技試験	○	○
	定期考査等		
	観点の重み(%)	30%	20%
月	考査	学習内容(指導時数)	学習活動
4		体づくり運動(10) 体育理論(2)	体を動かす楽しさや心身の保持増進や体力の向上を運動の計画や自己の体力や計画を立て、実生活に役立てる。 スポーツの歴史、文化的特点について理解できスポーツの効果的な学習のるようにする。豊かなスポーツ方について理解できるよ
5	定期Ⅰ	長距離走(10) 体育理論(2)	記録の向上や競争の楽種目特有の技能を高める。陸上競技に主体的になどを冷静に受け止め、しようとし、役割を責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保するようにする。 スポーツの歴史、文化的特点について理解できスポーツの効果的な学習のるようにする。)豊かなスポーツ方について理解できるよ

6		球技Ⅰ(13) 男子:ソフトボール 女子:バレーボール 体育理論(2)	勝敗を競う楽しさや喜びに応じた技能や仲間とチームが展開できるようにする。組むとともに、フェアなプレイ、こと、役割を積極的に引き受ける。合意形成や、健康・安全を確保する。技術などの名称や行い、問題解決の方法、競技会のルールや自己の課題に応じた取り組み方を工夫できる。
7	定期Ⅱ		
9		球技Ⅰ(15) 男子:バレーボール 女子:卓球	
10	定期Ⅲ	ダンス(15)	感じを込めて踊ったり、踊る楽しさや喜びを味わい、踊りを高めて交流や発表。ダンスの学習に主体的に取り組むこと、役割を積極的に果たすこと、合意形成に意欲をもち、健康や安全の名称や用語、文化交流や発表の仕方などを自己の課題に応じた運動を見方を工夫できるようにする。
11	定期Ⅳ	球技Ⅱ(12) 男子:サッカー 女子:バスケットボール	勝敗を競う楽しさや喜びに応じた技能や仲間とチームが展開できるようにする。組むとともに、フェアなプレイ、こと、役割を積極的に引き受ける。合意形成や、健康・安全を確保する。技術などの名称や行い、問題解決の方法、競技会のルールや自己の課題に応じた取り組み方を工夫できる。
12		球技Ⅱ(12) 男子:バスケットボール 女子:硬式テニス	
1		球技(選択)(12)	心と体を一体としてとらえ、についての理解と運動の合通して、生涯にわたって継続する資質や能力を育て、進のための実践力の育成。各種目に意欲的に取り組む。ルール作りに工夫して取り組む。
指導時間数 合計		105	

ラバス

教科書等	なし
なし	
3学年	
めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを て体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責 保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継	

運動の技能	知識・理解
運動の合理的な実践を 通して、運動の特性に 応じた段階的な技能を 身に付けている。	運動の合理的、計画的 な実践に関する具体的 な事項及び生涯にわ たって豊かなスポーツラ イフを継続するための理 論について理解してい る。また、個人生活及び 社会生活における健康・ 安全について、課題の 解決に役立つ基礎的な 事項を理解している。
○	○
◎	
30%	20%

とねらい	備考・変更点
地よさを味わい、健康の を図り、目的に適した運 や生活に応じた運動の計 てることができるようにす	
々特性や現代のスポーツ るようにする。運動やス い仕方について理解でき スポーツライフの設計の仕 うにする。	
しさを味わい、各 ことができるようにす 取り組むとともに、勝敗 ルールやマナーを大切に 責極的に引き受け自己の 、合意形成に貢献しよう 安全を確保することがで	
々特性や現代のスポーツ るようにする。運動やス い仕方について理解でき スポーツライフの設計の仕 うにする。	

を味わい、作戦や状況 携した動きを高めてゲ る。球技に主体的に取り ノイを大切にしようとする き受け自己の責任を果た に貢献しようとするこ ることができるようにす い方、体力の高め方、課 い仕方などを理解しチー :運動を継続するための ようにする。	
仲間と自由に踊ったりす それぞれ特有の表現や ができるようにする。 に取り組み、互いに共感 極的に引き受け自己の 多成に貢献することなど 全を確保するとともに、ダ 的背景と表現の仕方、 :理解し、グループや自 継続するための取り組 める。	
を味わい、作戦や状況 携した動きを高めてゲ る。球技に主体的に取り ノイを大切にしようとする き受け自己の責任を果た に貢献しようとするこ ることができるようにす い方、体力の高め方、課 い仕方などを理解しチー :運動を継続するための ようにする。	
え、健康・安全や運動に 理的、計画的な実践を 豊かなスポーツライフを継 るとともに健康の保持増 と体力の向上を図る。 組み、チーム編成やルー めるようにする。	

2023年度 英語科シラバス

教 科 名		英 語		教科書等	Power On Ⅲ（東書）	
科 目 名		コミュニケーション英語Ⅲ	教材等	Power On Ⅲ ワークブック Jet Reading		
単 位 数		4	履修学年区分	3学年		
履修区分		必修修科目				
目 標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。また、言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解させる。				
評価の観点		コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語文化についての 知識・理解	
観点の趣旨		コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	
評価方法	言語活動の観察	◎	○	○	○	
	提出物・小テスト	○	○	◎	○	
	筆記テスト		◎	◎	◎	
	パフォーマンステスト	◎	◎	○	○	
	観点の重み（％）	25％	25％	25％	25％	
月	考査	学習内容（単元名）		学習活動とねらい		備考・変更点
4		Lesson 1 Emoji as a Universal “Language”		[題材内容] 絵文字がどのように使われるようになっているかについて学ぶ。 [学習内容] 主語と述語動詞 [言語の働き] 説明する／理由を述べる		
5	考査Ⅰ	Lesson 2 How Was the Olympic Symbol Created? Lesson 3 Zoo Dentists		[題材内容] オリンピックの旗の意味について学ぶ。 動物の歯を治療する仕事はどのようなものであるかについて学ぶ。 [学習内容] パラグラフと話題文 文章の構成 [言語の働き] 賛成する／反対する 主張する		
6	考査Ⅱ	Lesson 4 The First Four Minutes of an Encounter Lesson 5 A Promising Surfer from Japan		[題材内容] 初対面の人と会話をする際に「最初の4分」が重要であることについて学ぶ。 プロサーファーである大原洋人選手について学ぶ。 [学習内容] ディスコースマーカー①列挙 ディスコースマーカー②因果関係 [言語の働き] 説明する／経験を述べる 説明する／理由を述べる／助言する		
7		Lesson 6 Where Does Halloween Come From? Lesson 7 A Science Award That Makes You Laugh、and Then Think		[題材内容] ハロウィーンの起源と歴史について知る。 イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容を知り、賞の意義について考える。 [学習内容] 付帯状況を表すwith 対比を表す接続詞while [言語の働き] 説明する／要約する／経験を述べる／描写する 説明する／要約する		
夏季休業		夏季休業課題		進路に応じた課題に取り組み、基礎の定着を図る。		

9		Lesson 8 A Nature Photographer in Alaska Lesson 9 The History of English Tea	[題材内容] 写真家、松本紀生さんが写真家になるまでの道のりと現在の生活について学ぶ。 紅茶がイギリスに伝わる過程とイギリスとイギリスに関わる国々の歴史への影響について学ぶ。 [学習内容] 関係代名詞what while[when](+S+be動詞) [言語の働き] 説明する／要約する／自分の考えを述べる 説明する／要約する	
10	考 査 Ⅲ	Lesson 10 Water and Living Things Lesson 11 The 10,000-Hour Rule	[題材内容] 人が生きていくために必要な水と砂漠に住む動物たちの生態について学ぶ。 モーツァルトやビル・ゲイツの例を通して1万時間の法則とはどのようなものかについて学ぶ。 [学習内容] 否定を表す形容詞・副詞 to+have+過去分詞 [言語の働き] 説明する／要約する 説明する	
11		Lesson 12 A Conductor of the Underground Railroad Lesson 13 English, Always Growing	[題材内容] 奴隷のための地下鉄道とはどのようなものかと女性指導者について学ぶ。 英語の語彙の歴史と語彙形成の仕組みについて学ぶ。 [学習内容] 関係代名詞の非制限用法 現在の可能性・水量を表す助動詞might [言語の働き] 説明する／意見を述べる 説明する	
12	考 査 Ⅳ	Lesson 14 Jose Mujica, the World's "Poorest" President Ever Lesson 15 Understanding the Culture of Dogs	[題材内容] ホセ・ムヒカ元ウルグアイ大統領の生き方や考え方について知り、環境問題を解決するのに必要な考え方を学ぶ。 犬の習性とその解決策について学ぶ。 [学習内容] 強調構文 as if+仮定法過去 [言語の働き] 説明する／意見を述べる 説明する／主張する	
冬季休業		冬季休業課題	進路に応じた課題に取り組み、基礎の定着を図る。	
1	課 題 テ ス ト	Reading "October Sky and the Rocket Boys"	[題材内容] アメリカ合衆国のある炭鉱の町の少年が、ソビエト連邦の世界初の人工衛星であるスプートニクの打ち上げの成功にどのような影響を受けたかについて、主人公の友人との友情や生き方を通して読む。 [言語の働き] 説明する／考えを述べる	
2				
3				

2023年度 英語科シラバス

教科名		英語		教科書等	MY WAY II (三省堂)	
科目名		英語表現Ⅱ	教材等		Breathrough The Keystone of English Grammar リスニング教材、スクランブル英文法・語法	
単位数		3	履修学年区分		3学年(文系)	
履修区分		必修科目				
目標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う				
評価の観点		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
観点の趣旨		コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考慮し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝える		外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	
評価方法	言語活動の観察	◎	◎		○	
	提出物・小テスト	○	○		○	
	筆記テスト		◎		◎	
	パフォーマンステスト	◎	◎		○	
	観点の重み(%)	25%	25%		50%	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4		・Lesson 13 仮定法を用いた様々な表現 ・Lesson 14 間接話法／否定表現		・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現の用法を理解して、適切な英語で表現する。 ・間接話法や否定のさまざまな表現の用法を理解して、適切な英語で表現する。		
5	考査Ⅰ	・Review Exercise 5 ・Get Ready ・パラグラフライティング1「異文化の紹介」		・段落構成や論理展開について学ぶ。 ・例示する表現について学び、日本や外国の独特の文化、特に年中行事の特色について、短い英文やパラグラフを書く。		
6	考査Ⅱ	・Lesson 15 代名詞を用いたさまざまな表現 ・Lesson 16 時間に関する表現		・世間一般の人を表すwe, youなどを含む代名詞を用いたさまざまな表現の用法を理解する。 ・エネルギーの節約や代替エネルギー、省エネルギー機器などのエネルギーに関する話題について、適切な英語で表現する。 ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文の用法を学ぶ。 ・ペット、ショッピング、旅行やスポーツ、習い事など余暇の過ごし方に関する話題について、適切な英語で表現する。		
7		パラグラフライティング2「動物の休息パターン」 Lesson17 無生物主語構文／名詞的表現		・動物の習性や植物の特徴、その他、さまざまな人やものの類型的な特徴について、短い英文やパラグラフを書く。 ・分類する表現を使って英文を書いたり、「分類」を用いてパラグラフを構成する。 ・無生物主語構文、名詞的表現の代表的なものの用法を理解し、適切な英語で表現する。		
9		Lesson18 譲歩を表す表現 Review Exercise 6 Lesson19 結果・程度、目的を表す表現		・no matterを用いたものを含む譲歩構文の代表的なものの用法を理解する。 ・インターネット上の情報、新聞やテレビ、雑誌などさまざまなメディアや伝達手段に関する話題について、適切な英語で表現する。 ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものの用法を理解して、適切な英語を書く。		

10	考 査 Ⅲ	Lesson20 強調表現／同格表現 パラグラフライティング3「世界の住居の比較」	・強調表現、同格表現の代表的なものの用法を理解する。 ・なりたい職業を含む将来の進路に関する話題について、適切な英語を書く。 ・世界のさまざまな国の住居に関して、その特徴やその背景事情について、短い英文やパラグラフを書く。 ・比較対照する表現を使って英文を書く。	
11		Lesson21 群動詞／群前置詞 Review Exercise 7	・群動詞、群前置詞の代表的なものの用法を理解し、適切な英語で表現する。 ・古今の著名な人物の生き様に関する話題について、適切な英語を書く。	
12	考 査 Ⅳ	パラグラフライティング4「地球温暖化の原因・結果」	・地球温暖化を始めとする環境問題について、短い英文やパラグラフを書くことができる。 ・「原因・結果」を示す表現を使って英文を書いたり、「原因・結果」を用いてパラグラフを構成することができる。	
1	課 題 テ ス ト	パラグラフライティング5「海外旅行者の推移」	・海外旅行者や留学生の数の推移について、短い英文やパラグラフを書く。 ・数値の「分析」をするための表現を使って英文を書いたり、「分析」を用いてパラグラフを構成する。	
2				
3				

2023年度 英語科シラバス

教 科 名		英語		教科書等	MY WAY II (三省堂)	
科 目 名		英語表現Ⅱ	教材等		Breathrough The Keystone of English Grammar リスニング教材、スクランブル英文法・語法	
単 位 数		2	履修学年区分		3学年(理系)	
履修区分		必修科目				
目 標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う				
評価の観点		コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解	
観点の趣旨		コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考慮し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝える		外国語の学習を通して言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	
評価方法	言語活動の観察	◎	◎		○	
	提出物・小テスト	○	○		○	
	筆記テスト		◎		◎	
	パフォーマンステスト	◎	◎		○	
	観点の重み(%)	25%	25%		50%	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4		・Lesson 13 仮定法を用いた様々な表現 ・Lesson 14 間接話法／否定表現		・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現の用法を理解して、適切な英語で表現する。 ・間接話法や否定のさまざまな表現の用法を理解して、適切な英語で表現する。		
5	考査Ⅰ	・Review Exercise 5 ・Get Ready		・段落構成や論理展開について学ぶ。		
6	考査Ⅱ	・パラグラフライティング1「異文化の紹介」 ・Lesson 15 代名詞を用いたさまざまな表現		・例示する表現について学び、日本や外国の独特の文化、特に年中行事の特色について、短い英文やパラグラフを書く。 ・世間一般の人を表すwe, youなどを含む代名詞を用い		
7		・Lesson 16 時間に関する表現 ・Lesson17 無生物主語構文／名詞的表現		・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文の用法を理解する。 ・ペット、ショッピング、旅行やスポーツ、習い事など余暇の過ごし方に関する話題について、適切な英語で表現する。 ・無生物主語構文、名詞的表現の代表的なものの用法		
9		パラグラフライティング2「動物の休息パターン」 Lesson18 譲歩を表す表現		・動物の習性や植物の特徴、その他、さまざまな人やものの類型的な特徴について、短い英文やパラグラフを書く。 ・分類する表現を使って英文を書いたり、「分類」を用いてパラグラフを構成する。 ・no matterを用いたものを含む譲歩構文の代表的なもの		
10	考査Ⅲ	Review Exercise 6 Lesson19 結果・程度、目的を表す表現		・結果・程度構文、目的構文の代表的なものの用法を理解する。 ・さまざまな科学や技術に関する話題について、適切な英語を書く。		
11		Lesson20 強調表現／同格表現		・強調表現、同格表現の代表的なものの用法を理解する。 ・なりたい職業を含む将来の進路に関する話題について、適切な英語を書く。		
12	考査Ⅳ	Lesson21 群動詞／群前置詞 Review Exercise 7		・群動詞、郡前置詞の代表的なものの用法を理解し、適切な英語で表現する。 ・古今の著名な人物の生き様に関する話題について、適切な英語を書く。		
1	課題テスト	パラグラフライティング3「世界の住居の比較」		・世界のさまざまな国の住居に関して、その特徴やその背景事情について、短い英文やパラグラフを書く。 ・比較対照する表現を使って英文を書く。		
2						

3		
---	--	--

2023年度 芸術科シラバス

教科名		芸術	教科書等		MOUSA②(教育芸術社)			
科目名		音楽Ⅱ	教材等					
単位数		2	履修学年区分	第3学年(文系)				
履修区分		選択履修						
目 標		音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。						
評価の観点		音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力			
観点の趣旨		音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。			
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	○			
	作品構想カード	○	○	○	○			
	作品		◎	◎				
	鑑賞カード				◎			
	観点の重み(%)	30	25	25	20			
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点		
4		○オリジナルのチャイムをつくろう(器楽) ～キーボードを用いて、テーマを決めグループで創作・発表 ○音楽史にふれよう ～中世、ルネサンス、バロック、古典 ○日本の歌に親しもう(歌唱) ～花、浜辺の歌、花の街		○器楽 ・器楽表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。【技能】【創意工夫】 ・グループ学習を通して、他者との調和を意識して演奏する技能を養うとともに、ともに音楽を作り上げる喜びを味わう。 【関心・意欲・態度】【技能】 ○音楽史 ・音楽史の学習を通して、世界の音楽文化に興味・関心を持ち、世界の音楽の多様性を理解し、その時代の音楽のよさや美しさを積極的に感受しようとする態度を養う。【関心・意欲・態度】 ○歌唱 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、自己のイメージをもって歌唱表現を工夫する。【技能】【創意工夫】		各学習活動、音楽活動の中で、学習プリントを用意し、【関心・意欲・態度】の評価も行う。		
5	I							
6								
7	Ⅱ	○オペラに親しもう(鑑賞) ～トウランドット 関連鑑賞作品:小フーガ ト短調、京劇、茉莉花(中国民謡) ○オペラアリアを歌おう(歌唱) ～トウランドット:誰も寝てはならぬ		○鑑賞 ・曲想や、表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解するため、関連鑑賞作品で、さらに深く特有の音階や、表現技法について学習し、オペラ作品を国、物語、舞台芸術等、様々な事柄を音楽と関連付けて鑑賞する能力を養う。【関心・意欲・態度】【鑑賞の能力】 ・作品について根拠をもって評価する。【関心・意欲・態度】【鑑賞の能力】 ○歌唱 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方の技能を身に付け、心情を表現するために、抑揚をつけて歌う。【技能】【創意工夫】		各学習活動、音楽活動の中で、学習プリントを用意し、【関心・意欲・態度】の評価も行う。		
9								
10	Ⅲ	○美しい混声合唱の響き(歌唱) (合唱曲は講座ごとにアンケートをとって決定) ・心の瞳 ・Let's search for Tomorrow ・COSMOS ・平和の鐘 等		○歌唱 ・ソプラノ・アルト・男声の各パートを編成し、パート毎に協力しながら練習を進め、さらに全体の練習に発展させ、響き豊かな合唱を目指すとともに、皆で作り上げる喜びを味わう。【関心・意欲・態度】【創意工夫】 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を知覚する。【関心・意欲・態度】 ・他者との調和を意識して意識して歌う技能を養う。【技能】		各学習活動、音楽活動の中で、学習プリントを用意し、【関心・意欲・態度】の評価も行う。		
11								
12	Ⅳ							
1								
2								
3								

2021年度 芸術科シラバス

教 科 名		芸術		教科書等	116－日文・美Ⅱ－304	
科 目 名		美術Ⅱ	教材等			
単 位 数		2	履修学年区分	第3学年(文系)		
履修区分		選択				
目 標		美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。				
評価の観点		美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
観点の趣旨		美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	
評価方法	学習状況の観察		◎		◎	
	作品の提出			◎		
	作品構想カード		◎		◎	
	鑑賞カード		◎		◎	
	観点の重み(%)		40	20	20	20
月	考查	学習内容(単元名)		学習活動とねらい		備考・変更点
4		人物クロッキー(絵画)		美術Ⅰの復習。 鉛筆での描写方法を理解する。		
5	I	人物描写(絵画、デザイン)		文集に載せる担任教師の似顔絵を制作する。個性や特徴をつかんでデフォルメしたり、リアルに描写しながら創作していく。		
6		校内写生(絵画)		透視図法や空気遠近法などを理解し、風景写生に臨む。これまでの高校生活を振り返り、自身の感情を込めた作品の創作を目指す。		
7	Ⅱ	木彫作品鑑賞、レリーフ(彫刻)		木彫板にレリーフを彫る。 半立体での表現の幅について作品鑑賞などを通して学び、構想を練る。 刃物や木材の特性を理解し、活かすことで個性的な作品を制作する。		
9						
10	Ⅲ					
11		作品鑑賞、近代芸術		近代絵画の巨匠の作品を鑑賞し、歴史的背景や時代性、作家の特徴などに注視して鑑賞する。		
12	Ⅳ	油絵制作(絵画)		鑑賞で学んださまざまな技法や表現方法などを利用し、創造性を広げながら構想を練る。 初めて使う画材の使い方を学び、積極的に創意工夫を繰り返しながら制作に取り組んでいく。		
1						
2						
3						